

平成30年度事業報告

高齢者が自ら培った知識や経験、ノウハウを活かし、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、高齢者の生きがい、働きがいを見つけ、地域社会に一層の活力を生み出すとともに多様化する地域のニーズに応えるべく新規会員の加入を促進し、就業機会の確保・拡充により、センター機能の強化に努めました。

1 受託事業・労働者派遣事業

雇用延長、労働力不足など高齢者を取り巻く環境が大きく変化する中、新入会員の高年齢化や会員ニーズの変化、顧客ニーズとの乖離も見られ、加えて、平成30年度は猛暑、豪雨の影響もあり、就業延人員、契約額とも大きく減少しました。

受託事業は、対前年度で約990万円、5.8%の減となり、特に企業、一般家庭等民間からの受注減が顕著でした。雇用延長に伴う企業内での業務配分や、地域全体の高齢化に伴う発注状況等の社会情勢の変化に加え、シルバー人材センターにおいても実働会員数の減少により履行まで時間がかかる例が増えてきたことなどにより顧客ニーズに十分こたえられない状況が発生していることなどが要因として考えられます。

労働者派遣事業は前年度大きく伸びたものの、平成30年度は対前年度で約280万円、8.4%の減となっています。企業から発注があっても、その業務に従事を希望する会員がない等、需給のニーズに相違する傾向が見られ、契約額が減少しました。

2 調査研究

公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会主催の各種研究会に参加、また、民間主催の研修会・講習会に参加し研鑽を重ね、事業の推進・強化を図りました。

3 普及啓発

地域住民、事業所などに対しシルバー事業の活用並びに会員の加入促進を図るため普及啓発に努めました。

☆ 会報「第51号」「第52号」を発行し、関係機関、公民館などに配布

☆ カレンダー等啓発資材を配布

☆ 普及啓発月間(10月)に合わせ「銭形砂絵」内の除草及び随時地域参加として「子どもの安全安心パトロール」活動に参加

☆ ホームページによる情報提供と情報の随時更新

4 安全・適正就業

安全就業については、会員とともに公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会主催の安全適正就業推進大会、安全・適正就業推進会議、安全に関する研修会・教室等に参加し、安全意識の向上に努めるとともに、適時就業先を訪問し安全指導を実施、就業中及び就業途上の事故防止に配慮しました。

適正就業については、「適正就業ガイドライン」を遵守すべく、発注者・会員に周知を図り、請負として適正でない契約については発注先に対し派遣契約への転換を依頼しました。また、「共働・共助」の意識を高め、ワークシェアリングによる会員のローテーション化を一層進め、公平な就業機会の提供に努めました。

5 会員の増強

年度当初の更新時に、加齢、体調等の理由により会員が多く退会しましたが、定期的な入会説明会を開催することにより、新たに21人が入会しました。雇用環境の変化に伴い新入会員の平均年齢が上がる傾向にあり、退会する会員の数を下回る新入会員数となっています。

今後は適切な就業あっせん等により会員満足度のアップを図り、加齢等身体的理由以外の退会者を減らす一層の努力が必要です。

☆ 29年度末 421人（当初退会）57人
（入会）27人（途中退会）0人 30年度末 391人

6 諸会議の開催

当センターの維持運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催しました。

☆ 定 時 総 会 30年 5月31日 開催
☆ 第1回 理事会 30年 5月14日 開催
☆ 第2回 理事会 30年 5月31日 開催
☆ 第3回 理事会 30年12月25日 開催
☆ 第4回 理事会 31年 3月20日 開催